

会報

第113号



公益社団法人
日本海海難防止協会

目 次

I 事業報告

I-1 委員会等開催

1 福井港堆砂対策計画に係る航行安全対策検討

1-1 第1回委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

1-2 第1回作業部会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

1-3 第2回委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

1-4 ビジュアル操船実験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

2 新潟港港湾計画改訂に係る航行安全対策調査

第2回委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

3 秋田港大型客船入出港に係る航行安全調査

第1回委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

I-2 海難防止周知運動

平成26年度冬季海難防止強調運動の実施について・・・・・・・・ 7

II 会務報告

II-1 業務日誌抄・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

II-2 業務予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

III 寄稿欄

舞鶴の神様たち（武内伊智布西神社）・・・・・・・・・・・・・・ 12

IV 連絡事項

☆会員名簿の変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

I 事業報告

I-1 委員会等開催

1 福井港堆砂対策計画に係る航行安全対策検討

1-1 第1回委員会

- (1) 開催日：平成26年9月3日(水)
- (2) 場所：福井市 ユアーズホテルフクイ
- (3) 出席者：別記のとおり
- (4) 議題：
 - ① 調査・検討の計画について
 - ② 福井港の現況について
 - ③ 航行環境について
 - ④ 数値シミュレーション方案について

別記

出席者名簿

(順不同・敬称略)

「委員」

寺本 定美	海上保安大学校	名誉教授
久古 弘幸	一般社団法人日本船長協会	副会長
三反崎紀夫	福井県水先人会	福井港水先人
出蔵 正彦	株式会社三国	海事部 海事部長
森田 正守	福井埠頭株式会社	代表取締役社長
古橋 光成	福井港石油基地管理委員会	代表幹事 (ジャパンオイルネットワーク株式会社福井油槽所長)
中川 浩一	福井県漁業協同組合連合会	参事
山本 時夫	福井県小型船交通安全対策協議会	事務局長

「関係官公庁」

宮林 幸雄	第八管区海上保安本部	交通部	企画調整官
金城 弘明	〃	〃	安全課 海務係長
岡田 衆象	敦賀海上保安部		次長
水田 秀明	〃	交通課	安全係長
植田 伸庫	福井海上保安署		署長
白井 正生	北陸地方整備局	敦賀港湾事務所	工務課長
吉岡 典哉	福井地方气象台		次長

「事務局」

桑島 廣	公益社団法人日本海海難防止協会	専務理事
安藤 眞博	〃	事業部長
檜ヶ谷正道	〃	事業部 主任研究員
花棚 景子	〃	〃 調査員

「関係者」

山田 福市	株式会社エム・オー・エル・マリンコンサルティング	代表取締役
専務		
杉山 直樹	株式会社エム・オー・エル・マリンコンサルティング	
	海洋技術事業部	主任研究員

1-2 第1回作業部会

- (1) 開催日：平成26年10月2日(木)
- (2) 場所：福井市 福井県庁会議室
- (3) 議題：
 - ① 第1回委員会の質疑・対応について
 - ② 操船に係る施設の安全性について
 - ③ シミュレータ操船実験方案について

別記

出席者名簿

(順不同・敬称略)

「委員」

寺本 定美	海上保安大学校	名誉教授
三反崎紀夫	福井県水先人会	福井港水先人

「関係官公庁」

三宅 光成	第八管区海上保安本部	交通部	安全課長
金城 弘明	〃	〃	安全課 海務係長
岡田 衆象	敦賀海上保安部	次長	
水田 秀明	〃	交通課	安全係長
長谷川邦久	福井海上保安署	次長	

「事務局」

桑島 廣	公益社団法人日本海海難防止協会	専務理事
安藤 眞博	〃	事業部長
檜ヶ谷正道	〃	事業部 主任研究員

「関係者」

山田 福市	株式会社MOLマリン	代表取締役専務
杉山 直樹	〃	海洋技術事業部
		海洋技術コンサルティング一部 主任研究員

1-3 第2回委員会

- (1) 開催日：平成26年10月30日(木)
- (2) 場所：福井市 ユアーズホテルフクイ
- (3) 出席者：別記のとおり

(4) 議 題：

- ① 第1回委員会の質疑・対応について
- ② 操船に係る施設の安全性について
- ③ ビジュアル操船実験方案について

別 記

出席者名簿

(順不同・敬称略)

「委 員」

寺本 定美	海上保安大学校	名誉教授
久古 弘幸	一般社団法人日本船長協会	副会長
三反崎紀夫	福井県水先人会	福井港水先人
出蔵 正彦	株式会社三国	海事部 海事部長
(欠)森田 正守	福井埠頭株式会社	代表取締役社長
(代)友永 英樹	〃	営業部 営業課長
古橋 光成	福井港石油基地管理委員会	代表幹事 (ジャパンオイルネットワーク株式会社福井油槽所長)
中川 浩一	福井県漁業協同組合連合会	参事
山本 時夫	福井県小型船交通安全対策協議会	事務局長

「関係官公庁」

宮林 幸雄	第八管区海上保安本部	交通部	企画調整官
三宅 光成	〃	〃	安全課長
金城 弘明	〃	〃	安全課 海務係長
岡田 衆象	敦賀海上保安部	次長	
水田 秀明	〃	交通課	安全係長
長谷川邦久	福井海上保安署	次長	
大下 善幸	北陸地方整備局	敦賀港湾事務所	副所長
吉岡 典哉	福井地方气象台	次長	

「事務局」

桑島 廣	公益社団法人日本海海難防止協会	専務理事
安藤 眞博	公益社団法人日本海海難防止協会	事業部長
檜ヶ谷正道	〃	事業部 主任研究員
花棚 景子	〃	〃 調査員

「関係者」

山田 福市	株式会社MOLマリン	代表取締役専務
杉山 直樹	〃	海洋技術事業部 海洋技術コンサルティング一部 主任研究員

1-4 ビジュアル操船実験

- (1) 開催日：平成26年11月18日(火)～19日(水)
- (2) 場 所：東京都 榎MOLマリン

2 新潟港港湾計画改訂に係る航行安全対策調査

第2回委員会

- (1) 開催日：平成26年9月5日(金)
- (2) 場所：新潟市 ANAクラウンプラザホテル新潟
- (3) 出席者：別記のとおり
- (4) 議題：
 - ① 第1回委員会質疑・対応について
 - ② 航行の安全性について
 - ③ 航行安全対策について
 - ④ 調査結果と報告書構成案について

別記

出席者名簿

(順不同・敬称略)

「委員」

大津 皓平	東京海洋大学	名誉教授	
池田 英治	海上保安大学	名誉教授	
久古 弘幸	一般社団法人日本船長協会	副会長	
西村 陽造	新潟水先区水先人会	会長	
武石 実徳	新潟港船舶代理店会	事務局	
佐藤 賢一	佐渡汽船株式会社	常務取締役海務部長	
小向 秀治	新日本海フェリー株式会社	取締役新潟支店長	
伊藤 則彦	日本海曳船株式会社	常務取締役	
小田 政市	新潟県漁業協同組合連合会	代表理事会長	
(欠)渡邊 廣吉	新潟港東港区網代浜地区小型船だまり利用者協議会	会長	
(代)小林 憲雄		副会長	
樋口 紀夫	信濃川係船組合	組合長	

「関係官公庁」

佐藤 博	第九管区海上保安本部	交通部	安全課長
金谷 英明	〃	〃	安全課 海務係長
木之瀬 樹	〃	海洋情報部	監理課 専門官
本間 一三	新潟海上保安部	交通課長	
木下 善貴	〃	交通課	安全係長
樋口 豊志	北陸地方整備局	港湾空港部	港湾計画課 課長補佐
渡邊 理之	北陸地方整備局	新潟港湾・空港整備事務所	企画調整課長
清水 雄太	〃	〃	企画調整課 係長
川端 昇	新潟地方气象台	気象防災情報調整官	
湯田 孝男	新潟市都市政策部	港湾課	課長補佐

「事務局」

桑島 廣	公益社団法人日本海海難防止協会	専務理事
------	-----------------	------

安藤 眞博	〃	事業部長
高野 修	〃	事業部 副部長
檜ヶ谷正道	〃	〃 主任研究員
花棚 景子	〃	〃 調査員

3 秋田港大型客船入出港に係る航行安全調査

第1回委員会

- (1) 開催日：平成26年12月10日(水)
- (2) 場所：秋田市 ホテルメトロポリタン秋田
- (3) 出席者：別記のとおり
- (4) 議題：
 - ① 大型クルーズ客船入港計画について
 - ② 調査・検討の計画について
 - ③ 秋田港の現況について
 - ④ 周辺の航行環境について
 - ⑤ 操船に係る施設の安全性について
 - ⑥ ビジュアル操船実験による検討方案について

別記

出席者名簿

(順不同・敬称略)

「委員」

大津 皓平	東京海洋大学校	名誉教授
池田 英治	海上保安大学校	名誉教授
久古 弘幸	一般社団法人日本船長協会	副会長
高橋 福治	秋田船川水先区水先人会	副会長
谷村 学	秋田海陸運送株式会社	営業部 営業一課長
鎌田 博道	日本通運株式会社秋田港支店	支店長
二田 隆夫	秋田曳船株式会社	取締役海務部長

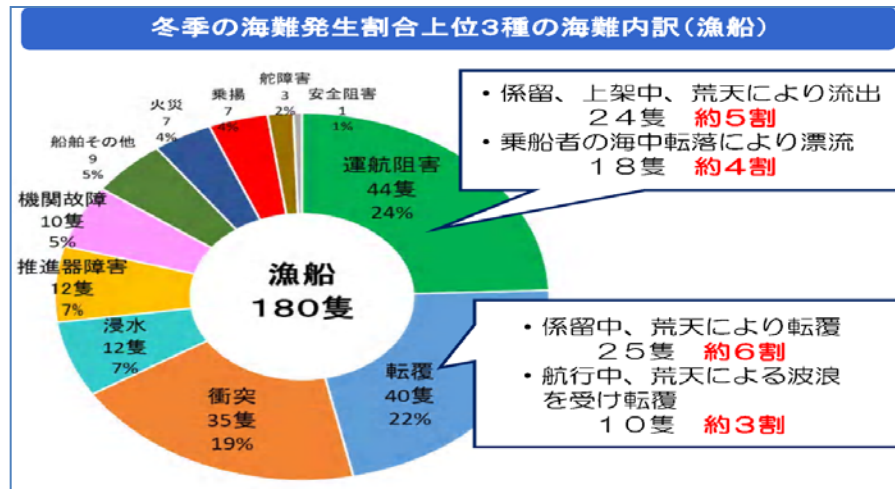
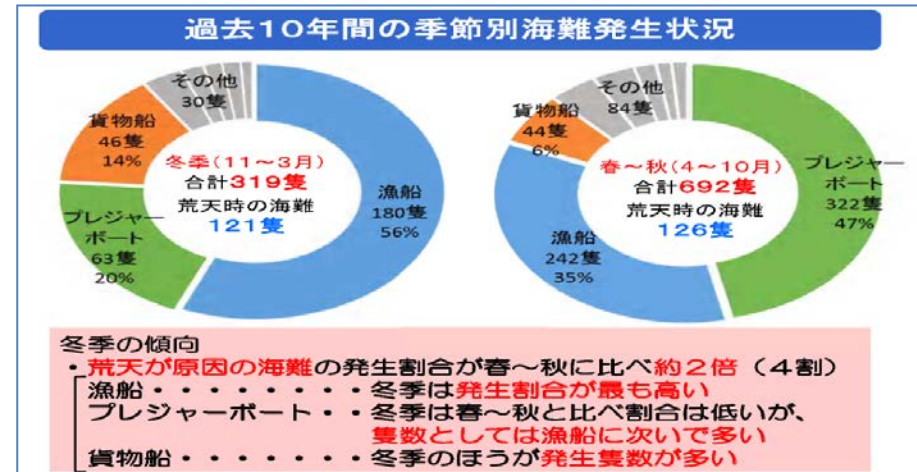
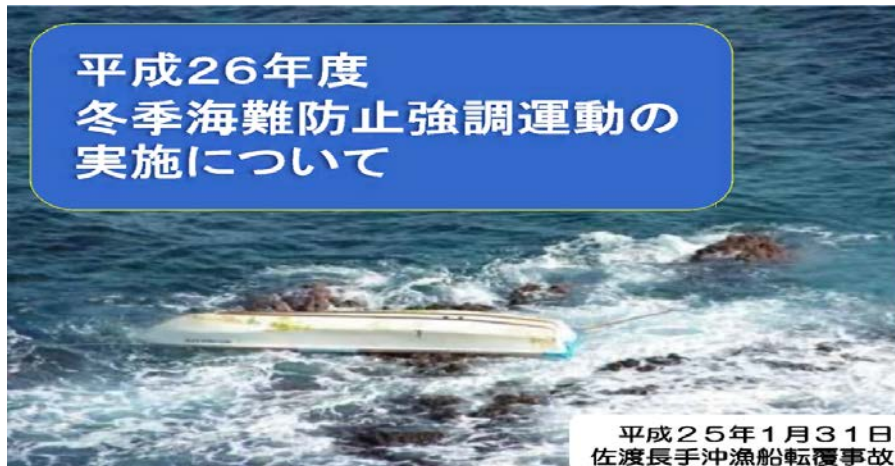
「関係官公庁」

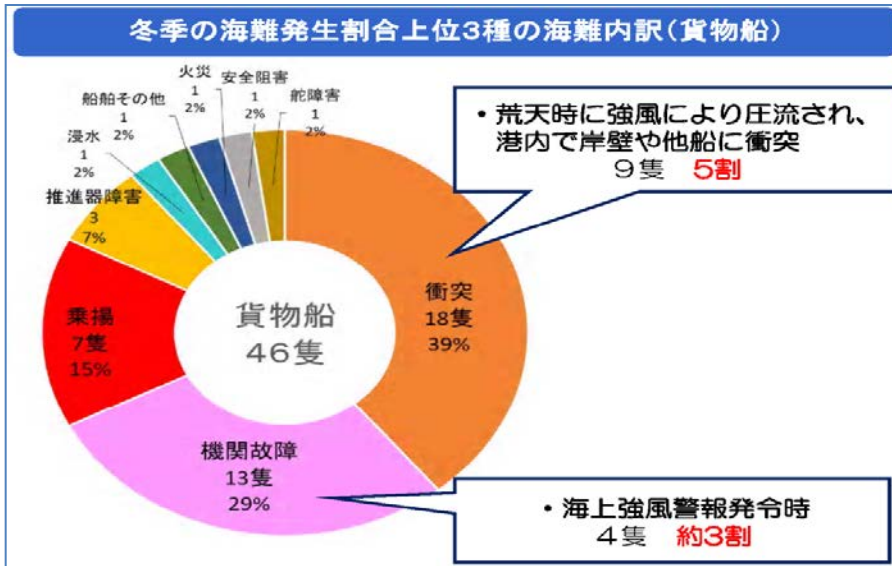
平野 恵三	第二管区海上保安本部	交通部	企画調整官
東 武	〃	〃	安全課長
守屋 研一	第二管区海上保安本部	交通部	安全課 安全対策調整官
秋好 晋	秋田海上保安部長		
畑中 春幸	〃	交通課長	
瀬浪 秀喜	〃	交通課 専門官	
豊若 俊介	〃	交通課 安全係長	
諸星 一信	東北地方整備局	港湾空港部長	
新田 邦彦	〃	港湾空港部 港湾計画課	課長補佐

千葉 秀樹	東北地方整備局	秋田港湾事務所長
高内 寛義	秋田地方気象台	防災気象官
「事務局」		
桑島 廣	公益社団法人日本海海難防止協会	専務理事
安藤 眞博	〃	事業部長
高野 修	〃	事業部 副部長
檜ヶ谷正道	〃	〃 主任研究員
花棚 景子	〃	〃 調査員
仙田 晶一	株式会社MOLマリン	海洋技術事業部 操船シミュレーター部長
岩永 恵子	〃	〃 海洋技術コンサルティング部 研究員

I - 2 海難防止周知運動

平成 26 年度冬季海難防止強調運動の実施について





過去の実例

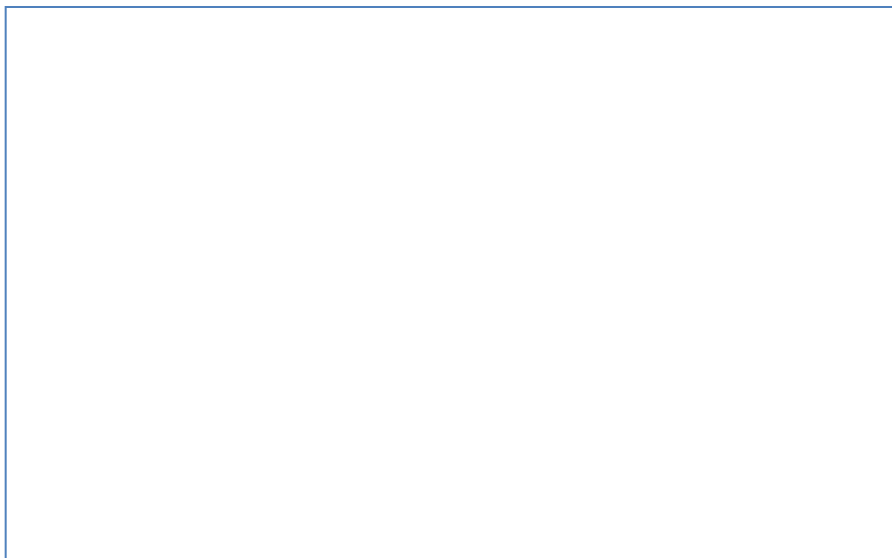
木材流出事例

● 事故概要 (平成21年1月23日)
 隠岐諸島付近を航行中、**荒天により船体が大きく傾斜し、積荷の木材約700本を流出させた。**
 流出した木材は**航行船舶の安全を阻害**するとともに、島根県～新潟県の沿岸の**広範囲にわたり漂着した。**

走錨から乗揚げに到った事例

● 事故概要 (平成21年11月21日)
 柏崎沖合いにて錨泊中、**風浪の影響で走錨し圧流され、海岸に座礁した。**
 乗組員7名はヘリにより**全員救助された**が、船体は撤去まで約1ヶ月の期間を要した。

- いずれも荒天時に発生
- 荒天が多い冬季の日本海では発生リスクが大きい
 →ひとたび発生すれば、被害が甚大又は影響が広範囲に及ぶことから、発生させないための対策が必要



冬季海難防止強調運動の概要

● 実施事項

ポスター・リーフレットを活用した周知活動

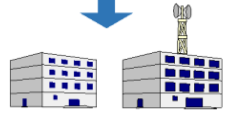
訪船による安全指導

※昨年度の実施状況

「走錨・荷崩れ注意報」の運用について



気象台及び主要な
灯台から情報入手



各保安部 九管本部

●発表基準

- ①気象庁が「強風と高波に関する北陸地方気象情報」を発表
- ②主要な灯台の風速が10m/s以上連吹

●伝達方法

国際VHF、AISメッセージ、FAX、MICS緊急情報メール

・FAX
・電子メール

・国際VHF
・AISメッセージ

・船舶電話
・FAX

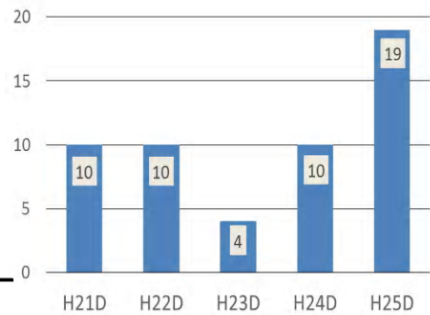


船舶代理店

一般船舶

漁船
プレジャー

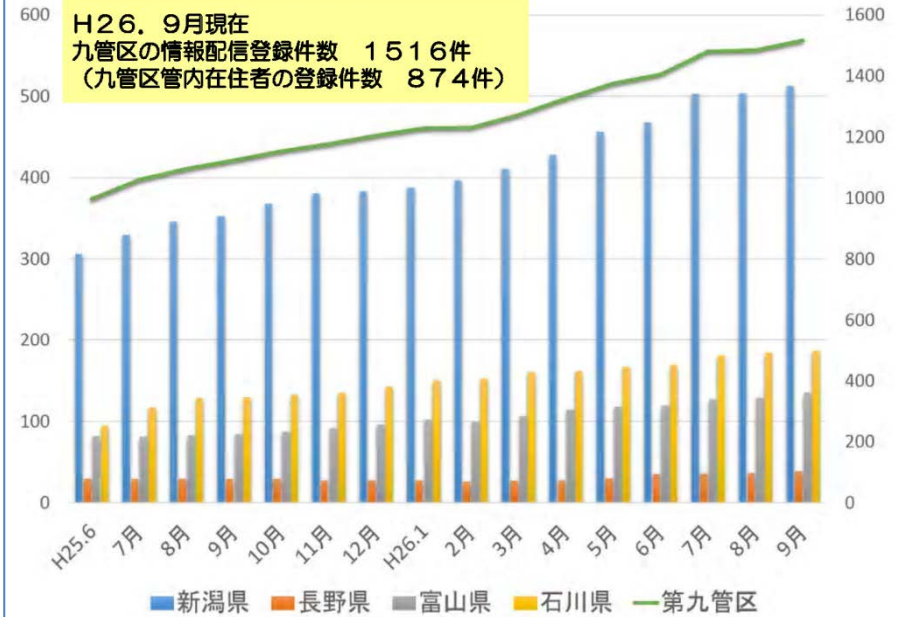
走錨・荷崩れ注意報発表回数（過去5年）



MICS緊急情報配信サービス(メール)登録件数

H26. 9月現在

九管区の情報配信登録件数 1516件
(九管区管内在住者の登録件数 874件)



Ⅱ 会 務 報 告

Ⅱ－１ 業 務 日 誌 抄

(平成 26 年 9 月～12 月まで)

月 日	内 容
9 月 3 日(水)	福井港堆砂対策計画に係る航行安全対策検討第 1 回委員会 (福井市)
9 月 5 日(金)	新潟港港湾計画改訂に係る航行安全対策調査第 2 回委員会 (新潟市)
9 月 19 日(金)	全国海難防止団体等連絡調整会議作業部会出席 (東京都)
10 月 2 日(木)	福井港堆砂対策計画に係る航行安全対策検討第 1 回作業部会 (福井市)
10 月 8 日(水)	第 1 回シェールガス輸送に向けた新型式 LNG 運搬船に係る航行安全 及び海上防災の評価手法検討調査委員会出席 (東京都)
10 月 30 日(木)	福井港堆砂対策計画に係る航行安全対策検討第 2 回委員会 (福井市)
11 月 6 日(木)	全国海難防止団体等連絡調整会議出席
～ 7 日(金)	(東京都)
11 月 18 日(火)	二水会出席 (新潟市)
11 月 18 日(火)	福井港堆砂対策計画に係る航行安全対策検討ビジュアル操船実験
～ 19 日(水)	(東京都)
12 月 3 日(水)	平成 26 年度第 3 回船員災害防止連絡会議出席 (新潟市)
12 月 10 日(水)	秋田港大型客船入出港に係る航行安全調査第 1 回委員会 (秋田市)

Ⅱ－２ 業 務 予 定

- | | | |
|---|-----------|-------|
| (1) 伏木富山港(伏木地区)大型客船入出港操船の安全性調査
第1回委員会 | 1月13日 | 富山市 |
| (2) 秋田港大型客船入出港に係る航行安全調査
ビジュアル操船実験 | 1月14日～15日 | 東京都 |
| (3) 新潟港(東港)大型客船入出港に係る航行安全調査
第1回調査会 | 1月20日 | 新潟市 |
| (4) 福井港堆砂対策計画に係る航行安全対策検討
第2回作業部会 | 1月22日 | 福井市 |
| (5) 新潟港(東港)大型客船入出港に係る航行安全調査
ビジュアル操船実験 | 1月26日～27日 | 東京都 |
| (6) 伏木富山港(伏木地区)大型客船入出港操船の安全性調査
ビジュアル操船実験 | 1月28日～29日 | 東京都 |
| (7) 福井港堆砂対策計画に係る航行安全対策検討
第3回委員会 | 2月12日 | 福井市 |
| (8) 平成26年度第2回理事会 | 3月17日 | 新潟市 |
| (9) 日本海中部海域における小型船舶の安全対策に関する調査研究
(新潟県地区)第2回委員会 | 3月中旬 | 新潟市 |
| (10) 平成26年度会計書類等の監査 | 4月下旬 | 協会事務室 |
| (11) 会報第114号発行 | 4月下旬 | |
| (12) 平成27年度第1回理事会 | 5月19日 | 新潟市 |
| (13) 平成27年度第1回通常総会 | 6月22日 | 新潟市 |
| (14) 平成27年度第2回理事会 | 6月22日 | 新潟市 |

Ⅲ 寄稿欄

舞鶴の神様たち（武内伊智布西神社）

元舞鶴事務所長 山本 勝眞

「丹後太郎」の異名を持つ暴れ川「由良川」。平成 16 年の 23 号台風で国道走行中の観光バスが屋根まで水没し、乗客 37 人がその屋根に上って一夜を明かした（翌日全員救助）ことで、全国的に有名になった暴れ川です。

現在、水防対策として、堤防工事が急ピッチで進められていますが、昨年 9 月の 18 号台風、今年の 8 月豪雨と相次いでまたまた水があふれ、福知山市内を洪水となって襲い、暴れ川の異名を存分に知らしめました。

その由良川の下流域は、舞鶴市内の西側に沿って北東に流れて日本海若狭湾に注いでいます。

舞鶴市から福知山市に至る道路は、その由良川の兩岸に沿って走り、川の北西側が国道 175 号線、南東側が府道 55 号線となっています。

舞鶴から 175 号線を福知山・宮津方面にむかい、由良川大橋の手前の藤津交差点を左折して、府道 55 号線に入り由良川沿いに上っていきますと、舞鶴市のはずれに桑飼地区という地名があり、その桑飼下杉ヶ迫に今回の「伊智

布西神社」は、鎮座されています。

この神社は、「延喜式」神名帳によれば、旧村社の「伊知布西神社」とされ、現在の神社名とは「ち」の文字が異なっていますが同じ神社です。

神社名は旧地名が由来と伝えられています。

神社境内は北向きで、府道 55 号線に面し、車をおりると目の前に神社名を標記する石柱が立っているので、すぐに目につきます。

数段の石段を登ると、石造りの明神式鳥居（笠木の両端が上方に反った形の鳥居）があり、さらに石段を登って本殿へと至っています。

境内入口は北向きですが、本殿は東向きに建てられていて、神明式（屋根の傾斜方向が正面となる神社の形式）覆屋に覆われ、中には流造りの本殿が鎮座するという造りになっています。



現在の本殿は1766年の建造といわれていますが、神社の創建は、905年ころと伝えられているとのこと。

主祭神は、^{みちふりのみこと}道振尊(?)とも^{いざなぎみこと}伊弉諾尊・^{いざなみのみこと}伊弉冉尊ともいわれているよ



うですが、詳細は分かりませんでした。伊弉諾尊・伊弉冉尊は古事記にいう国産みの神様として有名ですね。

私の考えでは、^{みちふりのみこと}道振尊がもともとの主祭神であったのが、後に記・紀の上で数ある神様のうち、尊い一組、伊弉諾尊・伊弉冉尊を祭神としたというのではないかな

と思っていますが……。

そして、境内社として「神明神社」、「稻荷神社」、「三柱神社」、「八坂神社」、「水無月神社」、「地主神社」が主拝殿の左右に祀られています。

これら境内社の御祭神は、それぞれ神明神社が^{くにとこたちのみこと}国常立尊、稻荷神社が

^{くらいねたまのみこと}倉稻魂尊(宇迦御魂)、三柱神社が^{ほむすびのかみ}火産霊神、^{おくつひのみこと}奥津比古尊、^{おくつひめのみこと}奥津比売

^{みこと}尊、八坂神社が^{すさのおのみこと}素戔嗚尊、水無月神社が^{つくよみのみこと}月読尊、地主神社が^{おおくにぬしのみこと}大国主

^{みこと}尊でありまして、いずれも格の高い(こういう表現は不敬かもしれませんが……)神々であります。

これらの神々については、これまでもこのコーナーで触れてきましたが、今回改めて私見をも交えて、ちょっと解説をさせていただきます。

神明神社の国常立尊は、記・紀の最初のほうで紹介される神で、神名からは国家形成に関係した神様と想像されますが、記・紀神話のなかで、『伊弉

諾・伊弉冉尊が^{あま}天の^{うきはし}浮橋から^{あま}天の^{さかほこ}逆鋒で下界をかき混ぜ、そのしずく

が島となって^{おの}淤能^ご碁呂^{しま}島となった。』というお話よりも以前に現れる神様で、地上(海上も含め)を神格化した神様ということになっています。

しかしそれは、あくまで神話の中での話で、一説によれば、国常立尊は、^{おおひるめむちのみこと}大日靈女貴尊(卑弥呼)のボーイフレンド(不敬な言い方で申し訳ないですが……)ともいわれています。

記・紀神代での神々の登場の様子は、いずれも現実離れした物語にすぎません。が、しかしまったく実体のない神々の姿であったかという、そうだともいえません。

何がしか政治に関与した実力のある人々を、神格化したと考えるのが自然です。

そういった観点から、古代日向地方の政り事を行った大日靈女貴尊のブレーンであったことを否定することはできません。



次に稲荷神社の倉稲魂尊ですが、この方は出雲系の神様で、素戔嗚尊の第六番目のお子神様で、文字通り五穀・食をつかさどる神様です。

別名宇迦御魂とも称されていて、この方を祀る稲荷神社は、朱塗り丸太造りの鳥居がたくさん並んでいることや、境内入口や拝殿前の両側に狐が配置されているというのが特徴です。

京都伏見のお稲荷さん（伏見大社）が有名ですが、日本各地に数知れず存在する神様です。

ちなみにお稲荷さんといえば「狐が祀ってある。」と勘違いされる向きもありますが、それは間違っています。「一番のお供えは油揚げ。」ということは決してないのです。

三柱神社は、文字とおり三柱の神々が御祭神で、いずれも火をつかさどる神様です。

このうち火産靈尊は炎の神様、そして奥津比古尊、奥津比売尊の二柱は、かまど 竈の神様です。

古代、人の生活の中で煮炊きのための火と竈は、大変大切なものだったに違いありません（もちろん現在でもそうですが・・・）。しかし取り扱いを誤ると火事という災いを招くということで恐れられてもいたでしょう。そういったことから、「荒神」として大切に祀られる神々で、いまでこそあまり見かけませんが、私の幼少のころは、台所の竈の近くに「荒神さん」のお札が掲げてありました。

ちなみに全国に、火除けの神様を祭る愛宕神社が点在します。この神社にはだいたい火産靈尊が祀られています。また火除けの神様としては秋葉神社という神社が点在しますが、こちらは秋葉大権現と称して新しい神様であります。

八坂神社のすさのおのみこと 素戔嗚尊については、たびたび紹介していますので、今回は紹介を差し控えます。



境内社の内の三つの神

水無月神社の月読尊^{つくよみのみこと}は、私もあまりよくわかりません。また調べてみると水無月神社というのは、あちらこちらにあるようですが、必ずしも月読尊を祀っているとは限らないようです。舞鶴市の西地区、吉原にある

水無月神社のお祭神は、月読尊です。

記・紀神話では、伊弉諾尊が黄泉の国から逃げ帰り、阿波岐原でみそぎをされた際、右目からお生まれになったのが月読尊ということになっています。

お名前からは、夜を支配する神様ということで、日輪の天照大御神に比肩する神として神話に登場させたのではないのでしょうか。

そして地主神社の主祭神ですが、大国主尊^{おおくにぬしのみこと}となっています。ほかに大国主尊のその父母神、素戔嗚尊とそのお妃奇稻田比売尊^{くしいなだひめのみこと}、さらに奇稻田比売尊の父母神、足摩乳尊^{あしなづちのみこと}（足名椎）・手摩乳尊^{あしなづち てなづちのみこと}（手名椎）が合祀されています。



境内社の一つ

合祀されている神々からして、ここでいう大国主尊は現在一般的に知られている因幡の白ウサギの大国主尊ではなく、饒速日尊^{にぎはやひのみこと}であると思われます。

因幡の白ウサギの大国主尊は、別名大己貴尊^{おおあなむちのみこと}といわれ素戔嗚尊の末娘神様である

須世理比売^{すせりひめ}の婿養子です。

以上今回は、伊智布西神社の紹介に乗じて、境内社の神様の話のほうがメインになってしまいましたが、悪しからず……。

<後注記>

今回、神々の尊称を「尊」に統一して表記させていただきましたが、しかし「命」と呼称される場合も大変多くあります。

いずれも「みこと」と読み、頭に「の」附して「～のみこと」といいます。

「尊」と「命」の使い分けについて、『北海道西野神社のホームページ「神道いろは」』では、

『日本書紀』神代巻の冒頭に「至^{いた}りて尊^{とおと}きを尊^{みこと}と日^いひ、自^{そのほか}餘^{みこと}を命と日^{みな}ふ。並^{みな}、美^み舉^こ等^とと訓^よむ」とあり、「日本書紀」では、天地^{てんち}開^{かい}闢^{びやく}に際して現れた国常立尊や伊弉諾尊・伊弉冉尊、天照大神と共に伊弉諾尊より成った月読尊、また天照の命を受けて葦原^{あしはら}中国^{なかつくに}（我が国のこと）に天降った邇邇^{ににぎ}芸^{のみこと}尊^{みこと}など、神様の中でも特に至貴な神様には「尊」が、それ以外の神様には「命」が用いられている。』と紹介されています。この記述からいえば、筆者も使い分けするほうがいいのかもしれませんが、神々は等しく尊いお方との思いから「尊」に統一して表記させていただきました。

IV 連絡事項

☆会員名簿の変更

現在発行している会員名簿の変更です。

○ 会社・団体名等の変更

頁	(旧) 会社・団体名	(新) 会社・団体名
26	(株)エム・オー・エル・マリンコンサルティング	(株)MOLマリン

○ 指定代表者等の変更

頁	会社・団体名	指定代表者職氏名	担当者職氏名
19	東北ポートサービス(株)	能代営業所所長 <u>長谷川 義彦</u>	能代営業所業務課長 <u>田村 信男</u>
22	新潟木材倉庫(株)	代表取締役社長 <u>堀井 道夫</u>	業務部長 <u>佐藤 昭雄</u>
23	北越物流(株)	顧問 <u>宮村 隆夫</u>	東港チップ事業所所長 大滝 喜代松
〃	新潟石油共同備蓄(株)	取締役総括部長 <u>今井 隆介</u>	環境安全課係長 後藤 健一
35	山陰臨海サービス(株)	代表取締役社長 <u>奥谷 俊介</u>	常務取締役営業・管理部長 岡本 博幸
36	徳畑建設(株)	代表取締役社長 徳畑 信夫	専務取締役 永海 精

○ 代表者等の変更

頁	会社・団体名	代表者職氏名	担当者職氏名
37	東北電力(株)秋田火力発電所	所長 鈴木 巧	総務課長 <u>米屋 聡志</u>
38	東北電力(株)佐渡営業所	所長 池田 雅英	副所長 <u>高野 衛</u>
39	北陸電力(株)福井火力発電所	所長 大蔵 治一	業務課長 <u>谷先 政人</u>
〃	中国電力(株)三隅発電所	発電所長 <u>藤本 均</u>	総務課課長代理 上崎 博